

## NEWS RELEASE

**防災・減災 研究成果公開シンポジウム  
～令和 6 年能登半島地震を受けて～ の開催案内**

三重大学地域圏防災・減災研究センターと三重県・三重大学みえ防災・減災センターは、6月8日(土)に「防災・減災 研究成果公開シンポジウム～令和6年能登半島地震を受けて～」を行いますので、下記の通りご案内いたします。

ぜひ取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 記

## 【概要】

## &lt;目的&gt;

みえ防災・減災センターでは、地震や風水害などの自然災害に対し、地域で活躍できる防災人材の育成のため、防災・減災を学ぶことができる「みえ防災塾」を開催しています。このうち、特に先進的かつ実践的な防災・減災のための計画立案とそのマネジメントを行う能力を持つ人材の育成を目指した「応用コース さきもり応用コース」では、各受講生が自ら研究テーマを設定し、研究に取り組んでいます。

また、災害に関する三重県内の地域課題の解決に資することを目的に、みえ防災・減災センターのセンター教員が各種テーマの調査・研究に取り組んでいます。

そして、それら研究成果等を広く情報発信することを目的に、地域圏防災・減災研究センターとみえ防災・減災センターとの共催で、年に1回、研究成果公開シンポジウムを行っています。

今回のシンポジウムでは、みえ防災塾さきもり応用コース生による研究成果の発表のほか、本年元日に発生した能登半島地震を受けて、センター教員にて取り組まれた調査・研究についての報告を行います。

## &lt;日時&gt;

令和 6 年 6 月 8 日(土) 12時 30 分～15時10 分

## &lt;場所&gt;

三重大学 三翠ホール 小ホール

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

## &lt;参加見込み人数&gt;

約 100 名程度

## &lt;内容&gt;

(1)【第1部:令和6年能登半島地震 調査・研究】(12 時 40 分から 14 時 25 分まで)

①三重県の支援の状況について

三重県防災対策部職員

②能登半島地震の被害の特徴と今後の対策について

川口 淳(三重大学大学院工学研究科 教授

／三重大学地域圏防災・減災研究センター センター長)

③DMAT(災害派遣医療チーム)の活動について

岸和田 昌之(三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科副科長

／災害対策推進・教育センター センター長兼病院教授

／地域圏防災・減災研究センター 災害医療部門長)

④避難所運営について

水木 千春(三重大学大学院地域イノベーション学研究科 准教授

／地域圏防災・減災研究センター 副センター長兼社会連携部門長)

⑤避難所における健康問題について

磯和 勅子(三重大学大学院医学系研究科 教授)

⑥令和6年能登半島地震で発生した地盤災害

沼本 晋也(三重大学大学院生物資源学研究科 准教授)

休憩(14 時 25 分から 14 時 35 分まで)

(2)【第2部:みえ防災塾さきもり応用コース 研究成果発表】(14 時 35 分から 15 時 5 分まで)

①防災意識・教育啓発グループ

・避難所における共助の在り方 ～要援助者から共助の一員へ～

②企業防災・技術開発グループ

・忍術を活用した「暗闇対処学習」の体験効果について

<主催者>

国立大学法人三重大学 地域圏防災・減災研究センター

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

【報道関係者 お問い合わせ先】

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

TEL:059-231-9952 E-mail: center@dimio.mie-u.ac.jp

担当:上村、田畑